

はじめに

本市は、人材、伝統・文化、自然などの地域資源を活かした教育を積極的に進めてきました。特に、学校教育におけるE S D（持続発展教育）の先駆的な取り組み及び市内小・中学校のユネスコスクール認証は、ユネスコスクール世界大会で事例発表されるなど、高く評価されています。

また、生涯学習においても、多くの市民による各種の学習活動、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動が盛んに行われています。

一方、近年の教育を取り巻く情勢は、少子高齢化、経済・社会のグローバル化、高度情報化など社会が大きく変化していく中で、取り組むべき課題は多様化し、複雑なものとなっています。

特に、次代を担う子どもたちだれもが、心豊かで将来を生きぬく力を身につけることが重要であり、私たち大人がその責任を果たす必要があります。

そして、ひとり一人の生涯にわたる学習の成果を社会に活かすことができる社会を実現し、まちづくりに役立てていくことが大切です。

このような状況においては、家庭、学校、地域が密接に連携し、教育を充実させていくための取り組みが求められます。

「第二次稲城市教育振興基本計画（稲城市教育プラン）」は、「ふれあいを通じて人と文化を育む稲城の教育」を基本理念に、今後5年間における教育の充実・持続発展を図るために、本市教育行政の最上位計画として策定しました。

今後は、市の上位計画である「第四次稲城市長期総合計画」に掲げる「人と文化を育むふれあいのあるまちづくり」の実現をめざし、本計画を指針として、家庭、学校、地域など関係者や関係機関が一体となり、本市の教育の充実につとめてまいります。本計画を推進していくために、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

おわりに、本計画の策定にあたり、ご尽力と貴重なご意見をいただきました第二次稲城市教育振興基本計画策定委員会委員の皆様、そして、アンケート調査等にご協力いただきました市民の皆様並びに関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月

稲城市長 **高橋 勝浩**

